

あなたの家の犯罪対策は充分ですか？

空き巣の手口にはこのようなものがあります



- ⚠ 6割以上が窓からガラス破りや施錠されていない箇所から侵入
- ⚠ 玄関ドアのピッキング、こじ破りなどにより侵入
- ⚠ 不在時の空き巣だけではなく、在宅時の居空き、就寝時の忍び込みにも注意

出典／引用：空き巣・忍込み・居空きの発生状況(神奈川県警察/令和7年7月末現在)



① 窓

引き違い窓、掃き出し窓、を中心としてその他一部の窓にも、CP認定のガラスやフィルムを採用し、侵入を防止します。

CP認定とは

警察庁、国交省などで構成される官民合同会議で定められた基準をクリアした住宅部品に付けられる認定です。CP認定を得るには、ピッキングやこじ破りなどにたいして5分以上*の抵抗時間が認められる必要があります。

*侵入に5分以上かかれれば7割の窃盗を被疑者が諦めると言う調査結果に基づいています。

② 玄関ドア

2ロックはもちろんのこと、電気錠かつIoTと連携させることで、ピッキング防止機能が働いたり、外出先からでも施錠の状況を確認操作できるため無施錠の防止にも役立ちます。

リストガーデン久が原4丁目は、CP認定ガラスやIoT技術で暮らしを守る家です

③ インターホン



スマートフォンのアプリから来客対応ができるため、在宅を装うことができ、空き巣対策に。また24時間常時録画機能が付いており、映像をスマートフォンから確認することができます。室内にモニターが無い場合、子供の誤操作による開錠も防ぐことができます。

④ 人感センサー付きライト

玄関ポーチには、人が近づくと、検知して点灯するライトなどを用いて一定の照度を保つことで犯罪を抑止します。

⑤ 防犯をより便利にIoTを使って

- ・ 玄関ドア、電動シャッターの操作
- ・ インターホンを通じた来客対応、カメラ映像の確認
- ・ 室内灯の遠隔操作→在宅を装うことができます。

